



# ATOM LIVINTECH IR NEWS

第66期報告書  
令和元年7月1日～令和2年6月30日



「住まいの飾り職人」が  
つくり出す独創的な商品で、  
社会の発展に貢献します

「独り歩きのできる商品づくり」

「創意・誠実・進取」



## 社名の由来

創業者は江戸指物（鏡台、茶単笥、長火鉢等）の金具職人、即ち繊細な装飾と微妙な細工の技術を要する鋳職でした。

社訓は、創業者の遺した言葉に基づくものであります。

「独り歩きのできる商品」とは、販売に際して、巧言令色や誇大な表現を添えずとも「ひと目でその価値が相手に伝わる商品」を指します。

当社の社是は、ご覧の通りですが、企画開発を旨とする企業として「創意・進取」は元より、独り歩きのできる商品であればこそ、販売に際して「誠実」が買き得ると考えております。

また社名の冒頭に冠した「アトム」は設立以来の商標であり、内装金物の分野で、業歴相応の認知と浸透を得ております。

以下に続く「リビングテック」には、ご説明の要もない「リビングテック」の他に、まさしく「技術に生きる＝リブ・イン・テック」の意味が籠められており、併もその技術とは、当社がファブレスメーカーであるだけに、単なるハードウェアのみならず、ソフトウェアをも包含する「ノウハウのメーカー」であり続けたいという思いを表しております。



代表取締役社長

高橋 良一

## 第66期の業績についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第66期の報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大する中、株主の皆様におかれましては不安な日々を過ごされていることと存じます。まずは、新型コロナウイルスに感染された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い回復と感染症の感染拡大が、早期に収束することを心より願っております。

第66期におきまして、当社の関連する住宅市場は、低水準にある住宅ローン金利や省エネ住宅への補助金制度など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えしたものの、新設住宅着工戸数は、慢性的な人工不足による工事の遅延や人件費の上昇、さらには建築資材および物流費の高騰が続くなど、本格的な市場の回復には未だ至らない水準で推移いたしました。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、住宅関連各社による一部資材の供給遅延や、出荷停止による建設現場での工事中断など、建設需要の不振が顕著に現れ、第4四半期以降は極めて厳しい経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社は第66期を中間年度とする「第10次中期経営計画（第65期～第67期）」において掲げた「自己改革を追究する企業風土の承継と発展」とのスローガンに従い、創業以来、積み重ねてきた現状に安住することなく「将来の発展を支える経営基盤の確立と進化」を基本方針として、持続的発展を可能にする原動力となるべき人材を確保し、世代交代による組織の若返りを進めて、全社的な連携を強化しつつ、組織をあげて次世代を担う経営基盤づくりとさらなる進化を図ってまいりました。

また、住宅産業における「企画開発型企業」として、当社の主力商品群に成長したソフトクローズ関連商品の拡充はもとより、市場の要望に応える新技術ならびに新商品の開発に取り組み、「内装金物（住まいの金物）の全般」に目を向けた幅広い商品開発と営業戦略を推進してまいりました。併せて販売費および一般管理費の圧縮など、調整かつ管理可能な諸施策を講じつつ、経営環境に左右されにくい社内体制と財務体質の構築を目指し、当面する経営課題に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、第66期の業績は、売上高103億94百万円（前期比1.8%減）、営業利益6億80百万円（前期比2.4%増）、経常利益7億6百万円（前期比2.8%増）、当期純利益4億82百万円（前期比11.1%増）となりました。

未だ新型コロナウイルス感染症の拡大に収束の見通しが立たない中、住宅関連産業に携わる当社といたしましては、「新しい生活様式」が求められる時代を乗り越える総合力を強化し、時代の変化に即応しうる柔軟かつ機動的な事業展開を図ってまいります。

令和2年9月

# 「新しい生活様式」が求める時代のニーズを的確に捉え、 変化に即応可能な柔軟で機動的な事業展開を目指します。

## 第66期の業績について

### 新型コロナウイルス禍の影響を最小限にとどめ、次世代を担う経営基盤の確立に総力を挙げて取り組みました。

第66期の住宅関連市場ですが、新設住宅着工戸数が前年割れに転じるなど、低調な推移を示す一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、建設需要の不振が顕著になってまいりました。当社におきましては、いかなる経営環境のもとでも持続的発展を可能にする経営基盤を確立するとの観点から、柔軟かつ機動的な取り組みを推進してまいりました。

商品戦略につきましては、お客様のご要望にきめ細かく対応するため、より現場主義に徹した、柔軟で機動力のある商品開発を具現化すべく、「営業設計グループ」を主軸に据え、次世代商品として自閉機能を付与した「半自動引戸ユニット」の商品化を実現し、高齢者向け市場の深耕を図りました。また、ソフトクローズ機構部単体のユニット化に成功した「マルチソフトクローザー」は、さまざまな引戸の納まりに展開可能で汎用性も高く、第一弾として「AFDシステム・戸袋納まり」を開発するなど、ソフトクローズの機能性と利便性の向上を実現し、当社独自の機能を持った商品群の拡充と市場への浸透に注力してまいりました。

市場戦略につきましては、営業本部直轄の「販売促進グループ」において、当社商品の認知度向上と販路拡大を目指し、積極的な営業活動を展開してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大した影響で、第4四半期に入り、テレワークを中心とした在宅勤務体制に移行するとともに、毎年4月に開催してまいりました「春の新作発表会」についても中止せざるを得ない状況となりました。その一方で、感染症収束後の営業展開に備え、アトムCSタワー2階に「空間提案」の場として位置づけて開設した「LIVIN' ZONE」を住空間の有効活用をテーマとして一新したほか、同館4階には保育施設や介護施設などの室内をイメージした「非住宅部門」を対象に、多数の当社

商品を組み入れたモデルルームを設置し、これら商品群の効用を実体験していただく場とするとともに、同館5階の展示スペースもさらに拡張して、豊富な品揃えとするなど、引き続き金物のみならず広くインテリアに関わる商品を用意してコロナ禍の収束後に備えてまいりました。

情報システム戦略につきましては、当社の経営管理体制を支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施し、業務効率と経営効率の向上を図ってまいりました。加えて、当社の「ものづくり」を広く紹介するため、ホームページ内の「atom動画ギャラリー」においては、新たに「マルチソフトクローザーAFDシステム・戸袋納まり」の施工動画を追加配信するなど、当社の主力商品について単なる商品紹介に留まることなく、職人不足が顕著な建築現場においても、施工方法や手順・調整方法などを明確に確認できる動画コンテンツの拡充に努めました。

こうした取り組みの結果、当初の目標数字には届きませんでしたが、令和2年6月10日付けで開示いたしました業績の下方修正に対しては、売上高・利益面ともに開示の数字を上回ることとなりました。その背景には、感染症の影響を受けた4月以降、総体的に苦戦を強いられたことはもとより、大手需要家様に対応する特販事業部においては、消費税増税後の住宅販売の低迷を受けて足取りが鈍くなってきた一方で、卸売ルートに対応する卸売事業部においては、提供商品の価格帯や販売ルートの見直しを進めるとともに、大手需要家様や中小卸のお客様が混在する拠点統括部においては地域差が大きく現れたことなどがあります。これまで当社では、いかなる経営環境のもとでも持続的発展を可能にする経営体制の構築に取り組んできましたが、中でも各部門が全社的な連携を図りつつ推進してまいりました、全方位営業が奏功したことに加え、つねに先を読み、準備を進めることで「緊急事態宣言」が解除された後、速やかにお客様のご要望にお応えする営業活動を展開したことで、新型コロナウイルス禍の影響を最小限に食い止めることが可能になったと考えております。

## 中長期的観点からの取り組みについて

### 時代の変化を機敏にキャッチし、予断を持つことなく、新たな事業スタイルの確立を推進してまいります。

第67期は第10次中期経営計画の最終年度にあたりますが、当社の関連する住宅市場は政府の経済対策や住宅取得支援政策などにより市場の活性化が期待される一方、新型コロナウイルス感染症の今後の縮小・拡大の動向、ならびに収束時期が見通せないため、極めて厳しい社会的・経済的状況が続くものと思われまます。こうした経営環境のもとで、住宅関連市場に位置する当社は、いや増す自然災害からの復興に寄与するとともに、新型コロナウイルス禍で求められる「新しい生活様式」を住宅の面から支える、社会的使命を担っていかねばなりません。

このため、つねに変化する状況に対して予断を持つことなく、いかに機敏かつ柔軟に対応するかが鍵になってまいります。大手需要家のお客様においては、すでに生産工程や地方に及ぶ感染症の第二波を前提にした在庫の見直しを進める一方、中小の需要家様や卸売ルートのお客様においては、事業の継続自体が危惧される状況が散見されつつあります。こうした中、当社は現下の変化に即応する柔軟かつ機動的な事業展開を目指し、「企画開発型企業」として新技術や新商品の開発に取り組み、ソフトクローズ関連商品の特異性・発展性を活かして、周辺事業領域の拡大を推進してまいります。また、営業面におきましては、当面、テレワークを主軸にした営業活動を進めつつ、お客様のご要望やご了解を得ながらの訪問活動も徐々に開始いたしております。加えて、アトムCSタワーにおきましては、感染症の収束後を見据え、展示スペースの再編・拡充を進めております。こうした緊急事態の中で得た知見や経験をもとに、次期中期経営計画においては、「新しい生活様式」に呼応した新たな事業スタイルの確立に臨んでまいります。

なお、第67期の通期見通しにつきましては、8月5日の令和2年6月期(第66期)決算短信の開示時点では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な算出が困難なため未定とし、市場の動向を慎重に見定め、算出が可能になった時点で速やかに開示させていただきますことといたしました。

## 株主の皆様へのメッセージ

### 株主の皆様との密接なコミュニケーションを礎に、さらなる業績と株主利益の向上に努めてまいります。

株主の皆様を大切にす当社では、ホームページを通したタイムリーな情報開示をはじめ、アトムCSタワー8階に開設した「IRフロア」や、「日経IR・個人投資家フェア」への出展などを通じ、株主や投資家の皆様との密接なコミュニケーションに努めてまいりました。しかしながら2020年につきましては、感染症の拡大を受け「日経IR・個人投資家フェア」への出展を取りやめ、多様なメディアを通じてのIR活動を展開することといたしました。

また、当社では、株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題として位置づけ、積極的な配当を行うことを基本方針に掲げております。第66期を中間年度とする第10次中期経営計画においては、常に着実な株主還元を目指すべく「年間配当金は利益水準のいかに関わらず、最低でも1株当たり30円を維持する」とともに、5年を節目とする周年記念配当の実施を目標としております。第66期の業績は第4四半期において、コロナ禍の影響を受けるものとなりましたが、配当の基本方針を踏まえ、期末配当金については、1株当たり17円50銭(普通配当は2円50銭の増配)とし、中間配当金の1株当たり17円50銭(「法人改組65周年」の記念配当2円50銭を含む)と合わせ、年間配当金を35円とさせていただきます。

さらには、日頃の株主の皆様のご支援にお応えするため、前期より開始いたしました株主優待制度を継続し、引き続き「QUOカード」と「当社関連商品の特別割引」の2本建てとさせていただきます。「QUOカード」につきましては幅広い株主様のご意向にお応えするため、社会貢献活動の一環として日本赤十字社へのご寄付をお選びいただける優待制度といたしております。

第66期においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、期初の予想を若干下回る結果となりましたが、幸いにも当社の持続的発展を可能にする原動力となるべき人材は、高い水準でモチベーションを維持しており、当社の持てる総合力を発揮し、眼前の荒波を必ずや乗り切るものと確信いたしております。株主の皆様におかれましては、引き続き、当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

暮らしの提案

# 「LIVIN' ZONE」をご紹介します。

かねてより当社では、アトムCSタワー内に「LIVIN' ZONE」を設置し、当社商品による新しいライフスタイルに応じた空間づくりを提案してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止を余儀なくされた「春の新作発表会」でのご紹介を予定しておりました「LIVIN' ZONE」をご案内いたします。感染症の収束後を見越して、新たに模様替えした「LIVIN' ZONE」では、さらに進化した間仕切りシステムなど、さまざまなシチュエーションに応じた住空間の有効活用をテーマにご提案いたしております。

提案① SW SYSTEM  
移動間仕切り SW-900

フロアの間仕切りを家族構成や生活様式に合わせて、フレキシブルに変えることができる「移動間仕切り」システムです。たとえば、リビングをパネルで仕切り2部屋に。出入りは間仕切りの端の「引戸パネル」「開き戸パネル」のほか、中央にある「フリーオープンパネル」の3カ所から3パターンの出入りが可能。複数の出入口を設定し、家具を間仕切りとして配置すれば、さらに部屋を分けるプランニングができます。また、パネル収納スペースを2カ所に設定すると、どちらか1カ所にまとめて収納することで、もう一方は物入れやフリースペースに。生活環境に合わせて収納計画の変更ができ、パネルを収納すればひとつのリビングとして広く使うことが可能です。



使い方ガイド  
動画はこちらから  
スマートフォンでご覧いただけます

提案② 3連引戸ダブルオープン

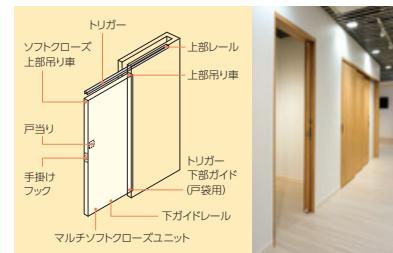


さまざまなシチュエーションに使用できる3連引戸です。従来は、戸先側の扉からの出入りに限られていましたが、本商品は中央の扉をフランス落として固定すると、戸尻側からの出入りも可能なダブルオープン仕様です。引戸を開閉するだけの操作で、室内を「間仕切る」と「開放」することが簡単にできます。

使い方ガイド  
動画はこちらから  
スマートフォンでご覧いただけます

提案③ AFD SYSTEM  
マルチソフトクローズ戸袋納まり

引戸の戸先上部に「ソフトクローズ上部吊り車」、戸先下部には「マルチソフトクローズユニット」を使用することにより、開けるときは枠より約120mm手前で、閉じるときは枠より約50mm手前でソフトクローズが作動します。戸先下部の「マルチソフトクローズユニット」は、戸を吊ったままユニットの脱着が可能で、戸袋納まりにおいて優れたメンテナンス効果を発揮します。しかもストロークに余裕があるため、セーフティストッパーを使用した際でも、70mmのストロークが確保できます。



施工ガイド  
動画はこちらから  
スマートフォンでご覧いただけます

お知らせ

アトムCSタワーでは、感染症の拡大防止のため、当面の間、休館とさせていただきます。また、事前予約制にて見学は可能となっておりますが、当日のお客様の体調によっては入館をご遠慮いただく場合がございます。お客様にはご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

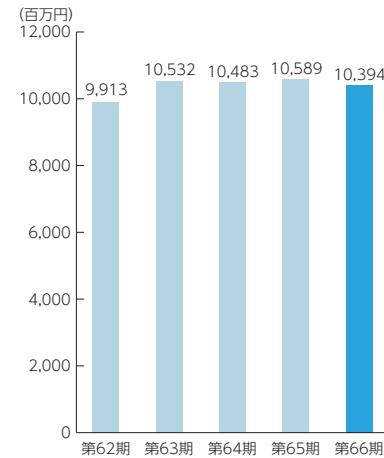
## 株主優待制度のご紹介

当社では、今後も中長期的に株式を保有していただくことを目的に「株主優待制度」を導入しています。優待の内容は、QUOカードと「当社関連商品の特別割引」の2本建てです。特別割引は、職人の技によるインテリアグッズや日用品の「ギャラリーショップKANAGU」から選定した20品目を、20%割引にてご提供させていただきます。

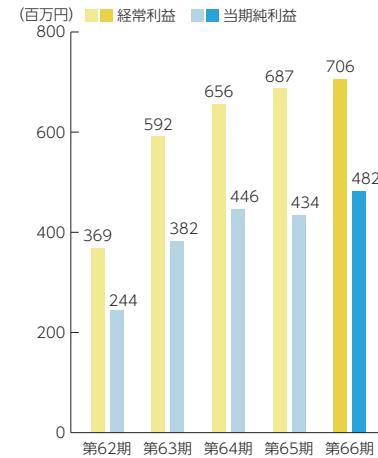
株主優待内容	保有株式数	継続保有期間		*「継続保有期間1年以上」は、毎年6月末日の当社株主名簿に記載または記録され、かつ6月・12月末日の株主名簿に同一株主番号により3回以上連続して記載または記録された株主様といたします。 *「寄付」をお選びいただいた場合、社会貢献活動の一環として日本赤十字社へ寄付をいたします。
		1年未満	1年以上	
1 QUOカード または寄付 	100株(1単元)以上 300株(3単元)未満	対象外	500円分	
	300株(3単元)以上 500株(5単元)未満	1,500円分	2,000円分	
	500株(5単元)以上 1,000株(10単元)未満	2,500円分	3,500円分	
	1,000株(10単元)以上	5,000円分	7,500円分	
2 当社関連商品の特別割引  当社が指定する商品 を定価の <b>20%割引</b> にてご提供				*特別割引の対象は、毎年6月末日の当社株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上を保有する株主様です。対象となる株主様へ「20%割引券兼用ハガキ」を送付いたします。

●詳細は弊社ホームページをご参照ください ..... [www.atomlt.com/ir/stockholders/shareholders](http://www.atomlt.com/ir/stockholders/shareholders)

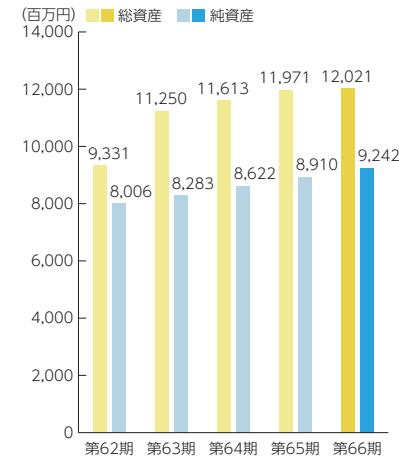
● 売上高



● 経常利益／当期純利益



● 総資産／純資産



● 主要経営指標

	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
売上高営業利益率 (%)	3.2	5.4	6.0	6.3	6.6
総資本営業利益率 [ROA] (%)	3.5	5.6	5.5	5.6	5.7
自己資本利益率 [ROE] (%)	3.1	4.7	5.3	5.0	5.3
流動比率 (%)	576.0	289.4	286.7	282.3	298.9
固定比率 (%)	44.2	43.9	47.0	49.1	52.3
自己資本比率 (%)	85.8	73.6	74.2	74.4	76.9
1株当たり純資産額 (円)	2,006.7	2,076.1	2,161.2	2,233.4	2,316.5
1株当たり当期純利益 (円)	61.2	95.8	112.0	108.9	121.0
1株当たり配当額 (円)	25.00	30.00	30.00	35.00	35.00
配当性向 (%)	40.8	31.3	26.8	32.1	28.9

※第65期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用したため、第64期については遡及適用後の数値を記載しております。

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目	前期 (自平成30年7月1日 至令和元年6月30日)	当期 (自令和元年7月1日 至令和2年6月30日)
売上高	10,589,833	10,394,001
売上原価	7,680,165	7,438,187
売上総利益	2,909,668	2,955,813
販売費及び一般管理費	2,245,005	2,274,922
<b>営業利益</b>	<b>664,663</b>	<b>680,890</b>
営業外収益	22,920	31,658
営業外費用	448	6,407
経常利益	687,135	706,141
特別利益	—	—
特別損失	29,416	387
税引前当期純利益	657,719	705,754
法人税、住民税及び事業税	223,425	216,118
法人税等調整額	△312	6,864
当期純利益	434,605	482,770

損益計算書

Point

営業利益

売上総利益率が向上し、着実に利益を確保することができたことに加え、販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、前期比16百万円の増益となりました。

貸借対照表

**Point**  
**現金及び預金**  
増減の詳細につきましては、キャッシュ・フロー計算書のコメントをご参照ください。

**Point**  
**建物(純額)、その他(純額)**  
広島営業所・C/Dセンターの稼働に伴い、建設仮勘定から建物等に振替をしたことなどにより、前期末に比べ建物(純額)が294百万円の増加、その他(純額)が238百万円の減少となりました。

科目	期別 前期 (令和元年 6月30日現在)	当期 (令和2年 6月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,657,816	4,455,677
受取手形及び売掛金	2,052,937	1,817,537
電子記録債権	385,013	359,010
商品	450,362	523,492
貯蔵品	20,143	-
その他	26,666	36,590
貸倒引当金	△243	△217
流動資産合計	7,592,695	7,192,091
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	897,283	1,191,320
工具、器具及び備品(純額)	123,752	118,816
土地	1,161,285	1,161,285
その他(純額)	251,573	13,537
有形固定資産合計	2,433,895	2,484,960
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	24,726	32,764
投資有価証券	1,795,028	2,184,412
その他	154,571	133,613
貸倒引当金	△194	△6,034
投資損失引当金	△28,933	-
投資その他の資産合計	1,920,472	2,311,991
固定資産合計	4,379,093	4,829,716
資産合計	11,971,789	12,021,808

単位：千円 (千円未満切り捨て)

科目	期別 前期 (令和元年 6月30日現在)	当期 (令和2年 6月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	678,252	539,350
電子記録債務	1,689,648	1,571,126
未払法人税等	129,510	112,997
製品補償引当金	20,055	-
その他	172,240	182,851
流動負債合計	2,689,707	2,406,325
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	157,252	147,815
役員退職慰労引当金	211,345	222,595
その他	2,600	2,800
固定負債合計	371,198	373,211
負債合計	3,060,906	2,779,537
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	300,745	300,745
資本剰余金	273,245	273,245
利益剰余金	8,362,414	8,705,541
自己株式	△64,554	△64,554
株主資本合計	8,871,849	9,214,976
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	39,033	27,294
評価・換算差額等合計	39,033	27,294
純資産合計	8,910,882	9,242,271
負債純資産合計	11,971,789	12,021,808

株主資本等  
変動計算書

(令和元年7月1日  
至 令和2年6月30日)

単位：千円 (千円未満切り捨て)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計			
				土地圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	300,745	273,245	273,245	43,189	95,868	6,000,000	2,223,357	8,362,414	△64,554	8,871,849
当期変動額										
剰余金の配当							△139,643	△139,643		△139,643
当期純利益							482,770	482,770		482,770
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	343,126	343,126	-	343,126
当期末残高	300,745	273,245	273,245	43,189	95,868	6,000,000	2,566,484	8,705,541	△64,554	9,214,976
	評価・換算差額等									
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計							
当期首残高	39,033	39,033	8,910,882							
当期変動額										
剰余金の配当			△139,643							
当期純利益			482,770							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△11,738	△11,738	△11,738							
当期変動額合計	△11,738	△11,738	331,388							
当期末残高	27,294	27,294	9,242,271							

キャッシュ・フロー計算書

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目	期別	前期 (自平成30年7月1日 至令和元年6月30日)	当期 (自令和元年7月1日 至令和2年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		927,805	626,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		△490,396	△689,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		△129,751	△139,623
現金及び現金同等物に係る換算差額		△69	△72
現金及び現金同等物の増加(△減少)額		307,588	△202,138
現金及び現金同等物の期首残高		4,350,228	4,657,816
現金及び現金同等物の期末残高		4,657,816	4,455,677

**Point**

**営業活動によるキャッシュ・フロー**

主な資金増加要因は、税引前当期純利益705百万円、減価償却費195百万円、売上債権の減少額260百万円等によるものです。また主な資金減少要因は、仕入債務の減少額204百万円、法人税等の支払額231百万円等によるものです。

**Point**

**投資活動によるキャッシュ・フロー**

主な資金増加要因は、投資有価証券の償還による収入200百万円等によるものです。また主な資金減少要因は、商品開発の金型及び広島営業所・C/Dセンターを開設するための設備投資など有形固定資産の取得による支出249百万円、投資有価証券の取得による支出603百万円等によるものです。

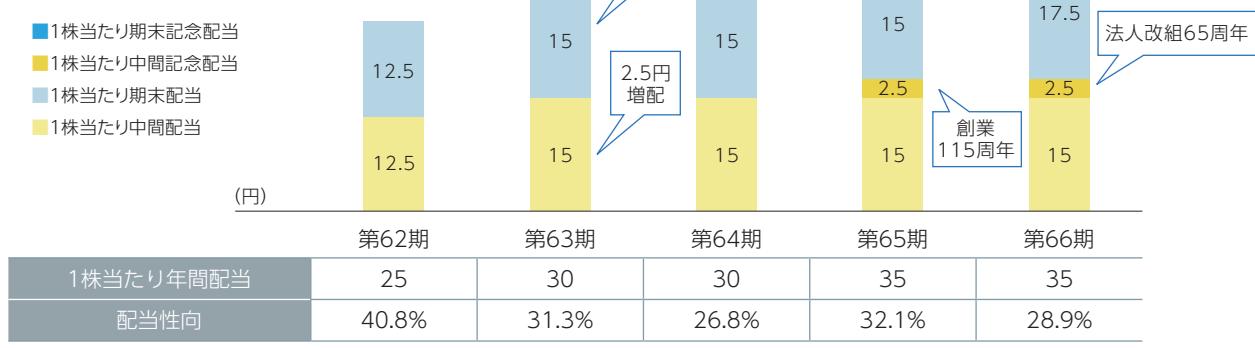
**Point**

**財務活動によるキャッシュ・フロー**

配当金の支払額139百万円によるものです。

配当状況

● 1株当たり配当状況



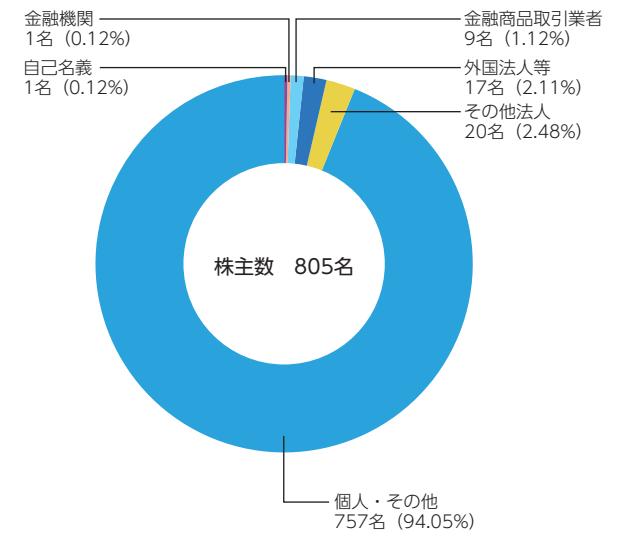
株式の概要

● 株式状況 (令和2年6月30日現在)

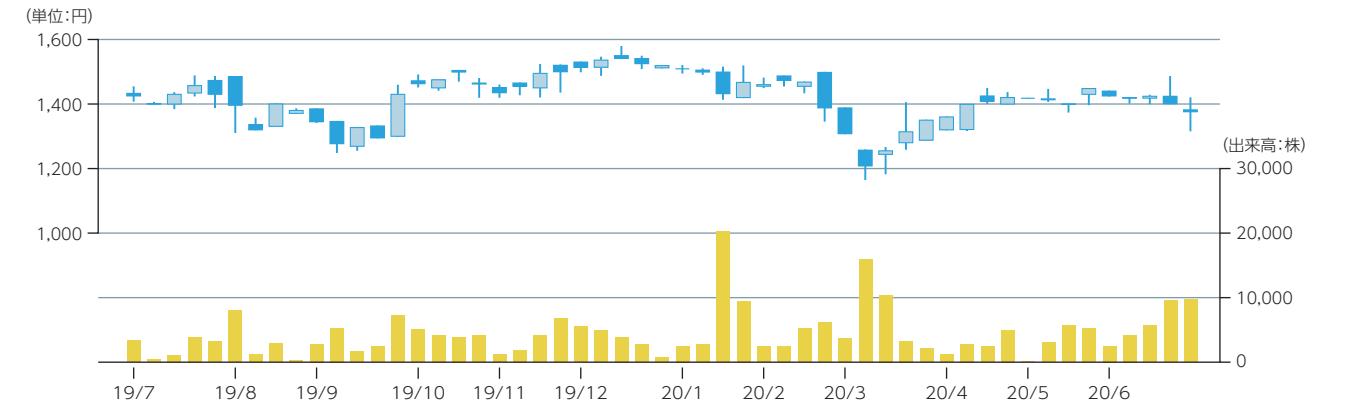
発行可能株式総数 15,420,000株  
 発行済株式の総数 4,105,000株  
 株主数 805名  
 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	500,000	12.18
アトムリビテック取引先持株会	408,800	9.95
高橋 良一	290,000	7.06
アトムリビテック従業員持株会	250,060	6.09
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビテック株式会社	115,180	2.80
大塚 李代	88,800	2.16
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎 衛	74,900	1.82

● 株主の所有者別分布状況 (令和2年6月30日現在)



株価および出来高の推移



## 会社概要 (令和2年6月30日現在)

商号	アトムリビングテック株式会社
創業	明治36年
設立	昭和29年10月
事業内容	家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、 住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行
従業員数	123名 (嘱託5名・パート13名含まず)

## 役員 (令和2年9月25日現在)

取締役会長	高橋良一
代表取締役社長	高橋快一郎
常務取締役	鈴木英光
取締役	伊藤友悌
取締役	池井正彦
取締役	山口俊
常勤監査役	金子豊
監査役	輿水洋一
監査役	高島良樹

## 事業所一覧 (令和2年6月30日現在)

<b>本社</b>	〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号	TEL 03-3876-0600
<b>アトムC/Dセンター (商品本部)</b>	〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号	TEL 048-922-5551
<b>札幌営業所</b>	〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東3丁目28番32号 井門札幌東ビル1F	TEL 011-748-3113
<b>前橋営業所</b>	〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号	TEL 027-223-2651
<b>広島営業所・C/Dセンター</b>	〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6	TEL 082-291-4235
<b>アトムCSタワー</b>	〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号 アーバンスタイル事業部 ショップ&ショールーム亜吐夢金物館	TEL 03-3437-3673 TEL 03-3437-3440
<b>アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所</b>	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5	TEL 06-6821-7281

## 海外拠点 (令和2年6月30日現在)

子会社：ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED (ベトナム社会主義共和国)
子会社：上海阿童木建材商貿有限公司(中華人民共和國)

ホームページも是非ご覧ください。

<https://www.atomlt.com/>

企業・財務情報をはじめ商品情報・オンラインショップなど、さまざまなコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。



## シリーズ企画

# アトムCSタワー

最前線 SPECIAL ISSUE



## ギャラリーショップKANAGU

ギャラリーショップKANAGUは、生活文化にこだわりを持ち、心豊かな暮らしを求める人々が職人の技による金属などの雑貨やインテリアを実際に手にとって体感し、購入することができるギャラリーショップです。

ギャラリーショップKANAGUのコンセプトは、モノとモノ、モノとヒト、ヒトとヒトをつなぐ「暮らしの飾り金具」。画一的な大量生産、大量販売、使い捨ての商品ではなく、職人の魂や技と、生活者の暮らしの美学が出会い、対話するスローショッピングを目指しています。



オンラインショップ「KANAGU store」で、モメンタムファクトリーOrii オリジナル表札の受注を開始しました。



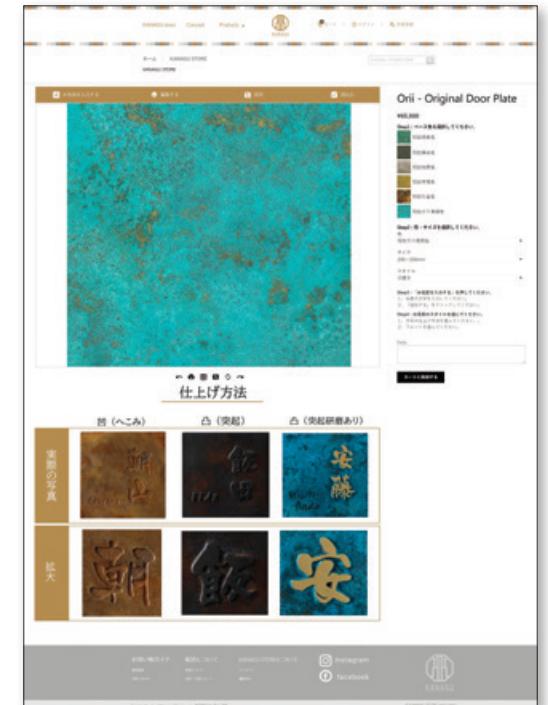
「KANAGU store」では、すでにおなじみのモメンタムファクトリーOrii。400年の伝統に培われ、高度な鑄造技術が集積する富山県高岡市に工房を構えるモメンタムファクトリーOriiは、1950年に折井着色所として創業以来、当地の伝統技術を受け継ぎ、仏像や梵鐘・茶道具・美術工芸品に至るまで、さまざまな鑄造品の着色を手がけてきました。

今回ご紹介するオリジナル表札は、着色伝統技で唯一無二の表札を、オンラインショップでシミュレーションしながらお作りいただけます。いくつかの

テンプレートから、お好きな色、お好きな書体を選んで文字を入力し、凹凸の加工を選ぶことで、建物の外観に深みと彩りを与え、住まいの顔に上質で個性的な存在感を示す、世界にひとつだけの表札ができあがります。この機会に建物と家族の未来に思いを込めた表札をお作りになってはいかがでしょうか。

色	全6色	サイズ	200×200mm (正方形) 150×150mm (正方形) 100×180mm (横長長方形) 180×100mm (縦長長方形)
価格	60,000円～65,000円(税別)		
納期	受注後、約1カ月		

\*規格外のサイズについてはご相談が可能です。



## 株主メモ

---

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告掲載新聞	日本経済新聞

---

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

住まいの飾り職人

**ATOM**  
LIVINTECH

アトムリビントック株式会社

〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL 03 (3876) 0600 (大代表)  
ホームページ <https://www.atomlt.com/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

